RESILIENCE CHARGE
災害時も暮らせる力を



Resilience Charge
レジリエンスチャージ

災害時の停電に慌てない。
持っている電気で安心をつなぐ。



災害時に「誰一人として残さない」人と人が支えあうサスティナブルな社会形成を目指し、素晴らしい未来ある子ども達に夢や希望を持たせる事も我々の大事なミッションの一つであると想っております。

一般社団法人
全日本災害住宅レジリエンス協会
〒104-0032　東京都中央区八丁堀2-19-8-7F

●お問い合わせは
営業時間 9:00～18:00【定休日：土日/祝日】
03-6275-2857

URL　https://www.jrd.or.jp
E-MAIL　info@jrd.or.jp
JRD 災害　検索

202609

一般社団法人 全日本災害住宅レジリエンス協会

Resilience Charge（レジリエンスチャージ）

災害時の停電に慌てない。持っている電気で安心をつなぐ。

地震や台風等の災害による停電時に、電気が止まることが多い昨今の自然災害。
電気が使えないことで孤立し、初めてわかる電気の大切さ。
いつも電気を使えることがあたり前のように感じて生活をしている今、
もう一度ここで電気の大切さを知っておくことで、事前の災害対策に繋がります。
突然やってくる自然災害でも慌てずに、暮らしに安心をチャージしませんか？

災害時の停電復旧までの日数

災害時における停電の復旧率80%までに要する期間は3日

過去の自然災害	被害総額	最大停電数	復旧率50%	復旧率80%	復旧率100%
東日本大震災（2011年）	約16兆９千億円	約466万軒	1日	3日間	3ヶ月と2週間
房総半島台風（2019年）	約665億円	約93万軒	2日間	4日間	15日と11時間

出典元：東京電力ホールディングス株式会社「台風15号に伴う停電復旧対応の振り返り」、経済産業省「3月11日の地震により東北電力で発生した広域停電の概要」を参照して作成

突然やってくる災害時の停電に慌てないために。
停電復旧までの約4.5日※をどのように過ごすか？







ご自宅が停電になった場合、夜間は真っ暗になり部屋の中でも転倒や怪我のリスクが高まります。
また、冷蔵庫・冷凍庫の保冷ができなくなるため、食材が傷みやすくなり、冷凍食品はすぐに解凍されてしまい、エアコン・暖房器具も使えなくなるため、夏は熱中症、冬は低体温のリスクが高まり、特に高齢者や乳幼児に影響が出てきます。
電気が消えると同時にご自宅のWi-Fiルーターが止まりインターネットが使えなくなります。
短時間であればスマートフォンやノートパソコンなどが使用可能ですが、やがて充電ができず外部への連絡手段が途絶えてしまいます。
防犯においても、玄関や駐車場のセンサーライトや防犯カメラが動かなくなりますので、注意が必要です。
このように、普段何気なく当たり前のように使用している電気が使えない生活になってしまうと、暮らしに不安を抱えながら、ひたすら電力の復旧まで我慢するしかない状況になってしまいます。

※ 停電時定常400W使用時

自然災害に停電はつきもの

2019年9月9日の台風15号は、関東地方で記録的な暴風となり、千葉県を中心に最大934,900戸が停電しました。
東京、神奈川などの他都県では9月11日までに概ね復旧した一方で、千葉県では送配電設備の被害が大きく、復旧作業に2週間以上を要し、9月21日になってようやく停電件数が1万戸以下となりました。





日本では過去に以下のような大規模停電が記録されています。

1987年 首都圏大停電　東京都他6都県で**約280万戸**が停電
1995年 阪神・淡路大震災による停電　兵庫県、大阪府で**約300万世帯**が停電
2006年 首都圏停電　東京都、神奈川県、千葉県で**約850万世帯**が停電
2011年 東日本大震災　東北・関東など／東北電力・東京電力管内**約5.27百万戸（概数）**
2016年 熊本地震（本震）　熊本県など／九州電力管内**約47.66万戸**
2018年 台風21号（大型台風）　関西エリア中心／関西電力管内ほか**約168万軒**
2018年 北海道胆振東部地震（ブラックアウト）　北海道全域／北海道電力管内**約295万戸**
2019年 台風15号　千葉県中心／東京電力管内**約93万戸**
2021年 東京エリア停電　東京電力管内**約95万戸**
2022年 福島沖地震　東北・関東／東京電力管内**約200万戸（報道値）**



▲2025/9/6撮影 静岡県牧之原市の竜巻／電力復旧日数6日



停電時でも電気を。
Electricity even during a power outage

Blackout

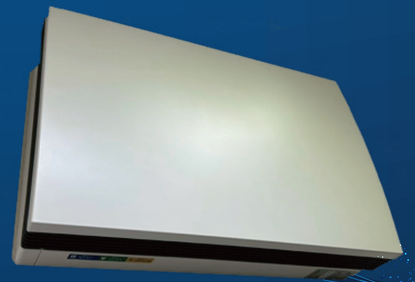
停電の主な理由

◯雷や大雪の影響
◯風雨・台風の影響
◯地震の影響
◯鳥の営巣等
◯車両衝突の影響
◯重機による設備損傷等
◯近隣火災の影響
◯住民の敷地内での設備トラブルの影響

RESILIENCE CHARGE
災害時も暮らせる力を

停電時の生活に必要な電力を さらにローコストで手軽に。

レジリエンス チャージ
電力自動給電システム



レジリエンスチャージ™

災害時の停電にも慌てない。
レジリエンスチャージが
持っている電気で安心をつなぐ。

レジリエンスチャージは、地震や台風等の災害による停電時に、太陽光発電設備や自動車、発電機等の外部電源から住宅へ電気の供給を行う給電システムです。





Resilience Charge life

突然やってくる停電でも、レジリエンスチャージで、家族の暮らしに安心を届けます。

レジリエンスチャージで可能になる停電対策

レジリエンスチャージがあれば、外部電力を利用して一般家庭での約4.5日分※1を給電することが可能です。
災害・停電時に最低限必要な電気回路は通常2回路。
最大5回路までが使用可能になります。
停電時必要な特定回路をあらかじめ設定しておけば、大掛かりな電気配線工事も無く、電力会社の復旧まで安心です。

停電時の電気使用例（リビング・ダイニング指定の場合※2）

照明	冷蔵庫	テレビ	扇風機	携帯電話
20W	100W	200W	50W	15W

※1 停電時定常400W使用時　※2 上記ワット数は各電気製品の消費電力1台分の目安となります。

地震 台風



東日本大震災では、災害発生時に、一時的に最大約466万軒が停電しました。
約373万軒の約8割が停電復旧するまでには、3日間を要しています。
また、台風15号では、一時的に最大約93万軒が停電しました。
その8割の約74万軒が復旧するまでに、約4日間を要しています。

普段控え目な存在の冷蔵庫は、実はとても暮らしに重要なもの



冷蔵庫が使用可能なため、食材を腐らすことなく、
いつも通りの食事の提供が可能です。

でも、冷蔵庫だけ使用できても意味がありません。
明かりと同時に使用できることが大事です。

電気の切れた冷蔵庫は、一度扉を開けてしまうとお肉などはすぐに傷んでしまいます。
いつでも冷たい飲み物も飲めるように、もしもの時も自動で電気を繋ぐ、レジリエンスチャージで、停電時でも不安なく過ごせます。
また、停電時に多い強盗などの防犯対策として電気がついている住まいは安心です。
いざという時のために、停電対策をお勧めいたします。

停電を他人事ではなく
身近にとらえる習慣を。

レジリエンスチャージは、電力復旧までの家族の暮らしに安心をお届けます。



レジリエンスチャージ＆屋外電源で、建物の構造が安全ならば避難所へ行かずに在宅が可能です。



スマホやパソコンの充電から、テレビやWifiなど、情報収集の際に必要な電源を確保できます。



水槽の魚などへのエアーの供給やペットたちも安心に過ごせます。



災害時に真っ暗な家が多い中、家が明るくなることで防犯上安全で、強盗や空き巣などから狙われにくくなります。特に高齢者の一人暮らしに明かりは必須です。

自動車付属のACコンセント（AC100V/1500W）やポータブル蓄電池・発電機をはじめ、太陽光発電パネルからも給電可能です。
普段キャンプ時に、自動車やポータブル蓄電池から露出電源を接続してご利用されている方は、キャンプ以外でも、もしもの停電時にご自宅で5回路までの電力が使用可能になります。





災害時に必要な電力は自動[※1]で切り替え。停電時でも安心な暮らしを！

選べる電力の供給例

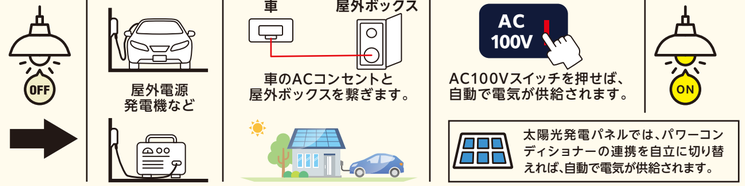
レジリエンスチャージの設置と、下記のいずれかの外部電力設備で、自宅への電力供給が可能です。
停電解消時には自動で電力会社の電気へ切り替わります。



※1 屋外電源の接続または太陽光パネルからの自立運転が機能している必要があります。
※2 HV車やPHV車、EV車などの電気自動車、機種により異なります。詳しくはお問合せ下さい。

高額なV2Hシステムの導入や蓄電池の設置は不要です。

停電時の給電までの流れ



停電時の給電方法の確認方法

レジリエンスチャージは３つの方法で給電することができます。
優先割り当てを設けており、停電時自動的に切り替わります。
停電が解消されると、自動で電力会社の電気に戻ります。

優先１	優先２	優先３
電力会社 青色 LED	屋外電源 緑色 LED	太陽光自立電源 オレンジ色 LED



レジリエンスチャージ側面で確認ができます。

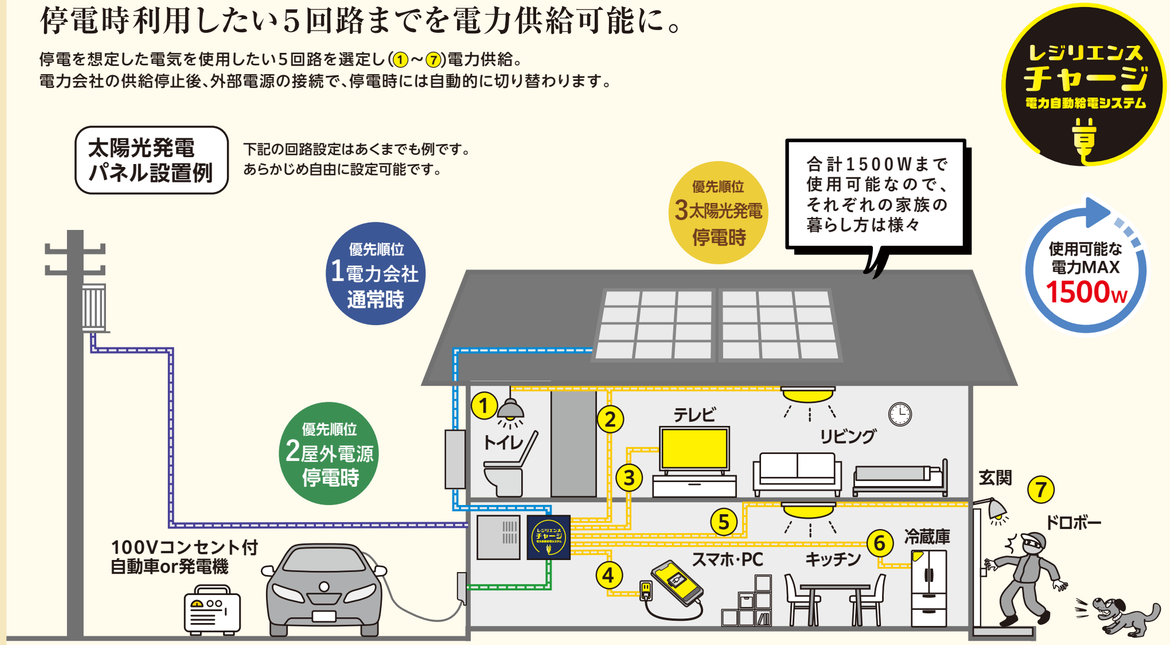


停電時利用したい５回路までを電力供給可能に。

停電を想定した電気を使用したい５回路を選定し（①～⑦）電力供給。
電力会社の供給停止後、外部電源の接続で、停電時には自動的に切り替わります。

太陽光発電パネル設置例

下記の回路設定はあくまでも例です。
あらかじめ自由に設定可能です。



※太陽光発電を優先に使用する場合は、太陽光（パワコン）を自立モードにする必要があります。

災害時の停電でも電気が使える家が安心。
災害時での家電使用例

最大1500Wまで電力が使用可能なため、停電時でも色々な家電を組み合わせながら使用可能。



実際の運用イメージ

○**停電時すぐ**：冷蔵庫＋照明＋Wi-Fi＋スマホ充電 → 約400W消費で常時運転。
○**食事準備**：ケトルや電子レンジを使う時は、他の大きな家電はOFFに。
（合計が1200～1400W程度で収まるように。）
○**夜間**：照明を最小限にして、PCやテレビを追加しても700～800W程度。

スマホの充電やWIFIなどの使用

テレビやラジオでニュースや最新の情報をチェック。

冷蔵庫で食べ物を痛めずに保管ができます。

パソコンで仕事も可能なため、復旧まで安心。

炊飯器でご飯が炊けて、停電時でも食事の心配はありません。

玄関やリビングの灯をつけることで、防犯対策にもなります。

電気ストーブや扇風機などの冷暖房器具で、快適な気温を維持できます。

ガスが停止していても、電子レンジや電気ケトルで簡単に調理できます。

【夏の夜の参考例】
・エアコン（冷房中）…600W～1000W程度
・テレビ…約100W前後
・LED照明…20～50W程度
・冷蔵庫…100W程度

ご注意
下記のような機器へはつながないでください。
・100V/1500W以上の起動電流を必要とする機器
・200Vの機器

※屋外電源の接続または太陽光パネルからの自立運転が機能している必要があります。

レジリエンスチャージ
電力自動給電システム

使用可能な電力MAX 1500W

常時接続する家電（生活維持の基盤）

これなら屋外電源の稼働時間を長く確保しやすい

○冷蔵庫▶▶▶200～300W（起動時600W以上に対応できるか要確認）
○照明（LED）：40W×2～3部屋▶▶▶80～120W
○Wi-Fiルーター・スマホ充電・ノートPC▶▶▶合計60～100W

合計：約400～500W

1日の中で、調理を優先した時間帯の使用例

ギリギリ余裕あり、同時に他の大型家電は不可

○電気ケトル▶▶▶1200W
○LED照明▶▶▶40W
○スマホ充電▶▶▶20W

合計：約1260W

必要に応じて使う家電（短時間・交互運用）

これらは「使う時だけON」にして、合計が1500Wを超えないように

○電子レンジ▶▶▶500～1000W
○炊飯器▶▶▶300～700W
○小型ヒーター／扇風機▶▶▶40～600W

合計：約1200W

季節対策に追加する電化製品

注意：1500W級の電気ストーブは不可

○夏：扇風機追加で＋40W → ほぼ影響なし
○冬：エアコン▶▶▶400～500W
小型ヒーターを使う場合は他を絞る（600W前後の製品を使用）

合計：約500～600W

レジリエンスチャージ™製品仕様



レジリエンスチャージ™
（自動負荷分電盤）
W430×L320×H110mm



屋外電源BOXコンセント
W75×L185×H50



屋外電源用接続ケーブル（10m）
※アースケーブル付き

【製品定価】
380,000円（税込418,000円）
※取付工事費は別途

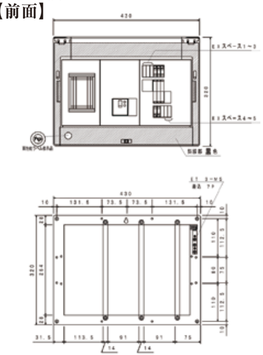
項目			内容
型式			ELD15L-NL
定格電圧			単相二線式
定格周波数			50/60Hz
定格消費電力			10W（本体消費）
定格入力電力			各1500W（3系統）
ブレーカー	主幹ブレーカー（漏電遮断機能付）	相線式	単相二線式
		系統数	1系統
		定格	15A（AC100V）
		定格周波数	50/60Hz
	分岐ブレーカー	相線式	単相二線式
		系統数	5系統
		定格	20A（AC100V）
出力		相線式	単相二線式
		系統数	5系統
		定格	5系統合計 1500W（AC100V）
		定格周波数	50/60Hz
形状		外形寸法	W430mm×H320mm×D110mm（扉開時 D399.5mm）
		重量	5.0Kg
使用温度範囲			周囲温度・5～40℃
使用湿度			湿度 90%RH 以内（温度変化で結露しないこと）
RoHS 対応			非対応

注意事項

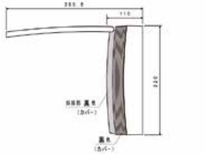
1.本製品は停電時専用の非常用給電システムであり、宅内すべての電気を使用できるものではございません。あらかじめ設計された特定回路（AC100V／1,500W以内）のみ使用可能です。
2.停電時に使用する回路は、事前設計が必要となります。販売工事店様や電気工事店様へご相談の上回路の設計をお薦めします。
3.定格（AC100V／1,500W）を超える機器、200V機器、医療機器、精密機器等には接続できません。
4.定格を超過した場合は安全ブレーカーが作動し給電が自動停止します。その際は、消費電力を規定内（1,500w以下）に抑えた上でブレーカーを復帰させてください。
5.本製品から車両への充電には対応しておりません。車両や太陽光発電、発電機等から住宅への給電のみ可能です。
6.使用可能な車両は、AC100V／1,500Wコンセントを搭載したHV・PHV・EV車両等に限られます。シガーソケットからの給電や自動車のDCバッテリーから、ACへのインバータ給電は、製品の安全性を考慮し接続をおやめください。
7.太陽光発電設備との併用は可能ですが、自立運転機能のないパワーコンディショナーには接続できません。詳細は販売店又は電気工事店様へご確認ください。
8.本製品はV2H機器とは異なり、停電時のみ太陽光発電や車両からの電力を使用できる「停電対策製品」です。通常時の給電や車両への充電はおやめください。
9.設置工事は必ず電気工事店による施工が必要です。販売店や電気工事士にお取扱いをお願いし、設置後はご使用方法の説明を必ず受けてください。
10. 保証期間は取付けから1年間です。簡単に壊れる仕様ではありませんが、取付位置や環境など保証内容の詳細は取扱説明書内をご確認ください。
11. 故障時はご購入先の販売店または電気工事店へご連絡ください。その際は、お名前・住所・製造番号・設置日・不具合状況（写真等）をご提示いただく場合があります。
12.本製品は、停電時に使用する製品であり、電力会社への毀損や不利益を与える商品ではありません。電力会社への申請も必要ありません。

外形寸法

【前面】



【側面】




停電時でも慌てず、
明かりが灯る住まいで、
家族を守る。